Infectious Diseases JAPAN Weekly Report

2009年第30週(7月20日~7月26日): 通巻第11巻第30号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症発生動向調査

感染症週報

厚生労働省/国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます



< 第30週 > 百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症 P.6-10

< インフルエンザ >

第30週の定点当たり報告数は0.28であり、3週連続で増加がみられた < 腸管出血性大腸菌感染症 >

本疾患の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群は、第30週までに25 例報告があった



インフルエンザウイルス 2008/09シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年



速報 P.16-19 腸チフス 2008年(2009年3月10日現在)



パンデミック(H1N1)2009 短報: no.5 - 妊婦における新型インフルエンザ / パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報告数



感染症の話 P.22 < 今週はお休みです >



読者のコーナー < 今週は該当記事は ありません >



グラフ総覧(30週) P.23-28



30週のデータ P.29-41





🎾 発生動向総覧

< 第30週コメント > 7月29日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核251例

3類感染症

細菌性赤痢1例 感染地域:インドネシア

腸管出血性大腸菌感染症107例(有症者74例、HUS 1例)

感染地域:国内105例、中国1例、韓国1例

国内の多い感染地域:山形県13例、東京都11例、香川県9例、埼 玉県7例、大阪府7例、北海道6例、愛知県 6例、兵庫県6例、広島県5例、石川県4例、

佐賀県4例、宮崎県4例

年齢群:0歳(1例) 1歳(10例) 2歳(10例) 3歳(6例) 4歳(2例) 5歳(6例) 6歳(3例) 7歳(1例) 8歳(2例) 9歳(3例) 10代(15例) 20代(16例) 30代(10例) 40代(2例) 50代(5例) 60代(8例) 70代(5例) 80代(1例) 90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(52例)、O26 VT1(16例)、O157 VT2(14例)、O26 VT不明(6例)、O157 VT不明(4例)、O91 VT1(2例)、O103 VT1(2 例)、O157 VT1(1例)、O26 VT1・VT2(1例)、O18 VT2(1例)、O145 VT1(1例)、その他・不明

(7例)

累積報告数: 1,414例(有症者928例、うちHUS 25例)

パラチフス1例 感染地域:インド

4類感染症

A型肝炎1例 感染地域: 山形県 つつが虫病1例 感染地域: 千葉県 日本紅斑熱1例 感染地域: 千葉県

マラリア6例 熱帯熱3例_感染地域:ギニア2例、ガンビア/ギニア1例

三日熱2例 感染地域:韓国1例、パプアニューギニア1例

原虫種不明1例__感染地域:インドネシア

レジオネラ症11例(肺炎型11例)

感染地域: 兵庫県3例、岩手県1例、茨城県1例、東京都1例、神奈川県1例、静岡県1例、京都府1例、香川県1例、鹿児島県1例、温泉)

年齢群:40代(1例) 50代(1例) 60代(2例) 70代(4例) 80代 (3例)

レプトスピラ症1例 感染地域: 鹿児島県 感染源: 家屋内のネズミの糞尿

5類感染症

アメーバ赤痢5例(腸管アメーバ症5例)

感染地域: 宮城県2例、三重県1例、大阪府1例、福岡県1例 感染経路: 経口感染1例、性的接触1例(同性間),不明3例

ウイルス性肝炎2例 B型2例_感染経路:性的接触2例 異性間2例)

急性脳炎6例 インフルエンザウイルスAH1pdm3例_年齢群:7歳(2例) 11歳

(1例)

病原体不明3例__年齡群:2歳(1例),30代(1例),70代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病1例

孤発性プリオン病古典型

後天性免疫不全症候群12例(AIDS 3例、無症候8例、その他1例)

感染地域:国内9例、米国1例、国内·国外不明2例 感染経路:性的接触12例、異性間4例、同性間8例)

ジアルジア症2例 感染地域:国内(都道府県不明)1例、タイ1例

梅毒6例(早期顕症I期3例、早期顕症II期2例、無症候1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

遺伝子型: VanC 2例__菌検出検体: 血液1例、胆汁1例

風しん2例(臨床診断例2例)

感染地域:神奈川県1例、兵庫県1例 年齢群:3歳(1例),30~34歳(1例)

麻しん10例[麻しん/検査診断例3例、臨床診断例3例) 修飾麻しん/検査診断例 4例]

感染地域:国内10例

国内の感染地域:埼玉県2例、神奈川県2例、愛知県2例、群馬県

1例、東京都1例、国内(都道府県不明)2例

年齢群:0歳(1例),1歳(2例),10~14歳(1例),15~19歳(4例),

30~34歳(1例),50代(1例)

累積報告数:513例(麻しん(検査診断例158例、臨床診断例226

例)修飾麻しん(検査診断例129例)]

(補)他に2009年第29週までに診断されたものの報告遅れとして、コレラ1例(感染地域:インド) 細菌性赤痢1例(感染地域:インド) オウム病2例(感染地域:北海道2例_感染源:セキセイインコ2例) デング熱1例(感染地域:タイ) 日本紅斑熱1例(感染地域:島根県) マラリア2例(熱帯熱1例_感染地域:ナイジェリア.原虫種不明1例_感染地域:パキスタン) 急性脳炎3例(水痘・帯状疱疹ウイルス1例(0歳) 病原体不明2例(4歳1例、20代1例)) クリプトスポリジウム症1例(感染地域:北海道) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例(30代(1例) 60代(1例.死亡) 70代(1例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型:不明_菌検出検体:血液 などの報告があった。

- 1.59

- 1.79

平均 - 2SD

- 1.29

- 1.20

- 1.35 **III**

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小 児科・内科)定点(約5,000カ所) 眼科定点(約600カ所) 基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定 点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。



0.02

- 0.36

- 0.40

- 0.81

平均 - 1SD

- 0.65 ■



0.35

マイコプラズマ肺炎

SD:標準偏差

2.76

平均 + 2SD

当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に 表現した。

平均 + 1SD

0.52

平均

インフルエンザ

- 2.31

定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してか なり多い。都道府県別では沖縄県(6.00)、大阪府(0.74)、滋賀県(0.58)、東京都(0.29)、石川県 (0.29)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は177例と2週連続で増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全 体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では北海道(0.97) 愛媛県 (0.65) 石川県(0.62)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県 別では北海道(1.80) 宮崎県(1.64) 山形県(1.60)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。 都道府県別では福井県 (6.2) 宮崎県(5.6) 大分県(5.5)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(1.97) 鹿児島県(1.24) 福井県 (1.23)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別では福岡県(8.6) 愛媛県(5.7) 大分県(4.9) 佐賀県(4.9)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。 都道府県別では神奈川県(0.74) 福島 県(0.23) 三重県(0.22)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別で は宮崎県(1.03)山口県(0.16)栃木県(0.15)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(7.0) 大阪府(5.7) 愛知県(5.6)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。 都道府県別では福井県(4.0) 長崎県(2.6) 福岡県(2.0)が多い。

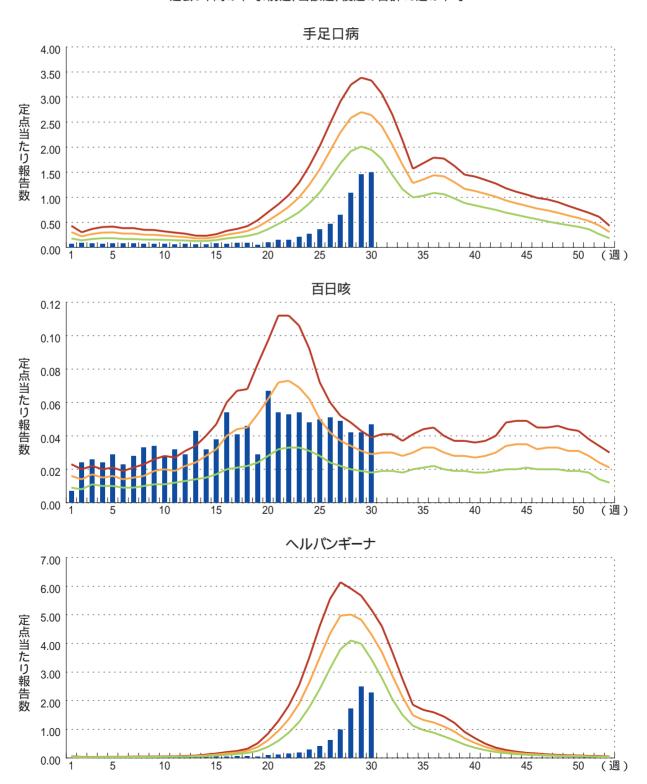
基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第26週以降減少が続いている。 都道府県別では沖縄 県(3.00) 埼玉県(1.78) 青森県(1.33)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1~30週) 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



*過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均



Ministry of Health, Labour and Welfare / National Institute of Infectious Diseases



注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型例では、1~4日間の潜伏期間を経て、発熱(38 以上の高熱)咳、咽頭痛、鼻汁・鼻閉等の急性呼吸器症状、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現するといわれている。これらはA/H1N1亜型(Aソ連型)、A/H3N2亜型(A香港型)、B型の3種類よりなる従来の季節性インフルエンザの特徴的な症状であるとされてきたが、2009年4月にメキシコ、米国、カナダを中心に発生した事例報告や、その後の日本国内での発生事例の報告等をみても、新型インフルエンザA/H1N1の臨床像は、季節性インフルエンザとほぼ同様であると考えられる。感染症発生動向調査では、全国約4,800カ所のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析しているが、臨床現場では従来の季節性インフルエンザと新型インフルエンザを迅速に判別する方法はない。また、特に新型インフルエンザが全数報告の対象ではなくなった7月24日以降は、定点医療機関からのインフルエンザの報告には、新型インフルエンザも少なからず含まれているものと考えられる。以上のことを踏まえて、以下にインフルエンザの発生動向について記述する。

感染症発生動向調査によると、2009年第30週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.28(報告数1,312)であり、3週連続で増加がみられた(図1)。都道府県別では、沖縄県(6.00)、大阪府(0.74)、滋賀県(0.58)、東京都(0.29)、石川県(0.29)、茨城県(0.28)、千葉県(0.28)、愛知県(0.28)、兵庫県(0.28)、広島県(0.28)の順であり、東京都及びその周辺地域、愛知県、大阪府及びその周辺地域、福岡県等の大都市圏を含めた28都府県で報告数が増加している(図2)。また、9府県(千葉県、福井県、長野県、滋賀県、京都府、大阪府、広島県、福岡県、沖縄県)の21保健所地域で定点当たり報告数が1.00を超えており、例年収束しているこの時期においても、低いレベルではあるが、新型インフルエンザの影響によると思われる地域的な流行が続いている。

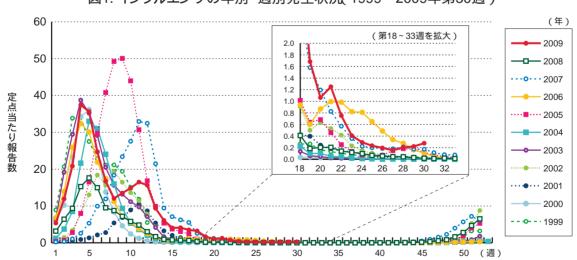


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999~2009年第30週)

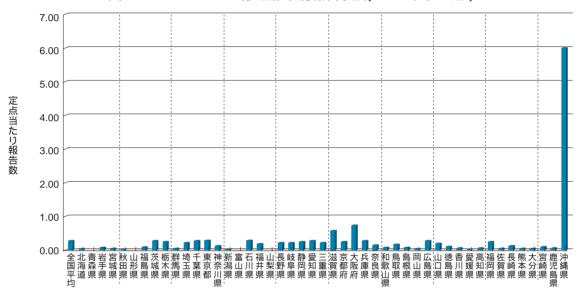
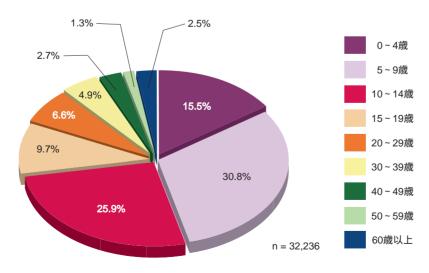


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2009年第30週)

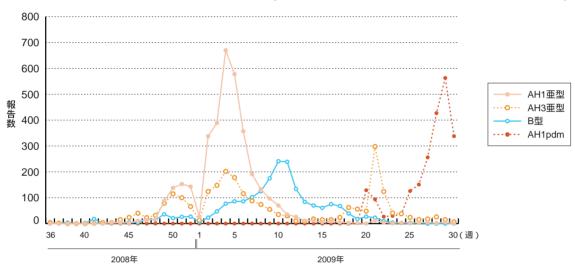
日本国内で新型インフルエンザの患者が発生したと推定されている5月5日を含む第19週(2009年5月4日~5月10日)以降、第30週までの定点当たり累積報告数は6.89(累積報告数32,236)であった。年齢群別では5~9歳9,944例(30.8%)、10~14歳8,360例(25.9%)、0~4歳5,004例(15.5%)、15~19歳3,118例(9.7%)、20~29歳2,142例(6.6%)、30~39歳1,582例(4.9%)の順となっている(図3)、従来、インフルエンザの年齢群別報告数は、5~9歳、0~4歳、10~14歳、30~39歳、20~29歳の年齢群の順で多かったので、10代を中心に発症者がみられている新型インフルエンザが影響している可能性が高いと思われる。





第19~30週にインフルエンザウイルスの検出は、AH1亜型(Aソ連型)39件、AH3亜型(A香港型)711件、B型90件の報告があり、またAH1pdm(新型インフルエンザウイルス)は、2,178件の分離・検出が報告されているため、AH1pdmはこの期間中の分離・検出全体の72.2%を占めている。但し、AH1pdmの大半は、これまでは新型インフルエンザの全数報告の一環として、診断のために地方衛生研究所でRT-PCR検査が実施されてきた結果が反映されたものであり、図4)、従来の季節性インフルエンザと新型インフルエンザの実際の患者発生の割合を示しているものではない。

図4. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の週別推移(2008年第36週~2009年第30週) (病原微生物検出情報:2009年7月30日現在報告数)



これまで、国内外を問わず、新型インフルエンザの地域での流行の多くは、学校における集団発生を契機として始まっている。従来の季節性インフルエンザと異なり、新型インフルエンザでは、小学校、幼稚園、保育園のみならず、高校、中学校において集団発生が多発していることから、より早く感染拡大し、その規模も大きくなりやすいものと予想される。大半の学校が夏季休暇中である現在、国内において本格的な流行が到来する時期は予測できない。しかし、通常の季節性インフルエンザの流行時期より早く、秋季に大規模な流行が発生する可能性がある。今後とも新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には十分な注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症

2009年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は第20週から増加が認められ、第27週101例、第28週143例、第29週164例で、第30週は107例であった(図)。本年第30週までの累積報告数1,414例は、2000年以降の各年同期間の累積報告数と比較して、2003年に次いで少ない報告数であった(2000年1,436例、2001年2,030例、2002年1,555例、2003年1,126例、2004年1,525例、2005年1,570例2006年1,560例、2007年1,802例、2008年1,581例)。

(年) 350 2009年 2008年 300 2007年 250 2006年 2005年 200 2004年 150 2003年 2002年 100 2001年 2000年 50 0 (週) 10 25 45 50

図. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(2000年~2009年第30週)

第1~30週(2008年12月29日~2009年7月26日診断のもの)の累積報告1,414例は、患者が928例(66%)無症状病原体保有者が486例(34%)であった。すべての都道府県から報告があり、報告の多い都道府県は、福岡県(104例)東京都(100例)神奈川県、愛知県、兵庫県(各73例)千葉県(69例)であった。感染地域は国内が1,391例、国外が20例、国内か国外か不明が3例であり、国内の都道府県別では、福岡県(93例)東京都、兵庫県(各71例)愛知県(67例)大阪府(61例)の順で多かった。性別では男性628例、女性786例であり、年齢群別では0~9歳486例(うち有症者379例:78%)20~29歳210例(同148例:70%)10~19歳206例(同157例:76%)の順に多かった。

本疾患の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)は第30週までに25例報告があった。都道府県別では、19都道府県(福岡県3例、北海道、香川県、熊本県、鹿児島県各2例、青森県、岩手県、山形県、栃木県、千葉県、東京都、富山県、石川県、長野県、岐阜県、京都府、広島県、山口県、大分県各1例)から報告があった。25例は男性5例、女性20例で、年齢は0~4歳が11例、5~9歳が7例、10~14歳が2例、15歳以上が5例であった(表)。25例中7例に肉の喫食歴があり、うち3例(2歳、12歳、13歳)は生肉あるいは生レバーを喫食していた。2009年第30週までに死亡例の報告はない(HUSなどの合併症や死亡については届出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるので、届出後に発生が確認された場合の追加・修正報告を自治体に依頼している)。

表. 腸管出血性大腸菌感染症の溶血性尿毒症症候群(HUS) の年齢群別報告数(2009年第1~30週)

	総届出数	患者	HUS	HUS/患者
0~4歳	301	231	11	4.76%
5~9歳	185	148	7	4.73%
10~14歳	115	89	2	2.25%
15歳以上	813	460	5	1.09%
総計	1,414	928	25	2.69%

例年、腸管出血性大腸菌感染症報告数は年間ほぼ3,000~4,000例で推移していたが、2007、2008年は2年続けて4,000例を超えた。また、HUSは2007年129例、2008年94例が、死亡はそれぞれ4例、8例報告された。幸い本年は、これまでのところ過去に比べ少ない報告数にとどまっているが、本症が数多く発生する夏季を迎え、その発生動向にはさらに注意が必要である。

本疾患の発生・拡大を防ぐためには、食肉の十分な加熱調理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。

(補)腸管出血性大腸菌感染症の発生状況については、http://idsc.nih.go.jp/disease/ehec/index.html もご参照ください。

また、菌の検出状況については、http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html もご参照ください。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-i.html からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所 地研 からの検出報告です。 週別の報告数は、病原体が分離・ 検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研 からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年7月30日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン

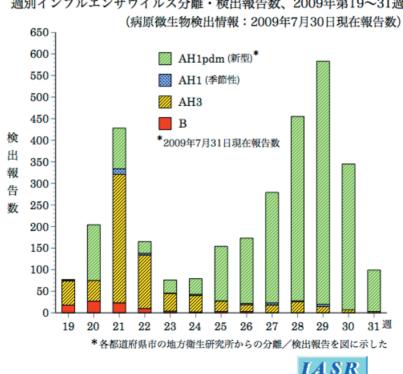
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報 告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採 取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの国内発生に対応して、地研で鑑別診断のための検査が行われており、 第20週以降新型インフルエンザウイルスAH1pdm(*)の検出数が増加している。

季節性インフルエンザウイルスの分離・検出は、2008年第36週~2009年第31週までに全都道 府県からAH1亜型が3.568件、AH3亜型が2.441件、B型が2.010件が報告されている(2009年7月 30日現在報告数)。

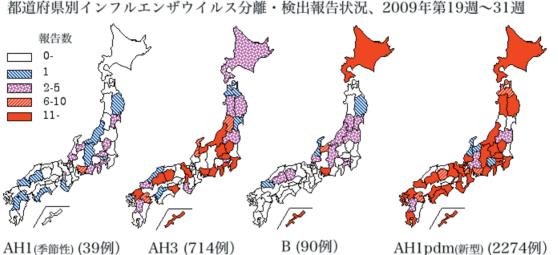
新型インフルエンザウイルスAH1pdm(*)は、2009年第19~31週に39都道府県から2.274件の 分離・検出が報告されており、2009年7月31日現在報告分)、このうち、1.873件はPCRで検出、396 件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、5件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性と なっている。また、下気道炎(気管支炎、肺炎)2件、インフルエンザ脳症1件が報告されている。

ちなみに、第19~31週に季節性インフルエンザウイルスの検出はAH1亜型(Aソ連型)39件、 AH3亜型(A香港型)714件、B型90件の報告があり 2009年7月30日現在報告数) AH1pdmはこ の期間の分離・検出例全体の73%を占めている。



Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19~31週



(病原微生物検出情報:2009年7月30日現在報告数)

(病原微生物検出情報:2009年7月31日現在報告数)

*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

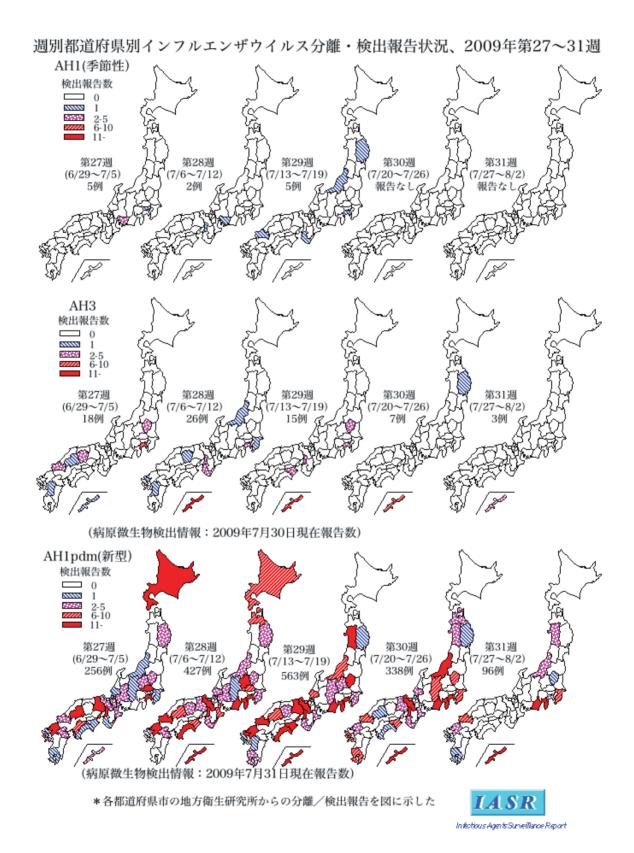


直近の5週間(第27~31週)の分離・検出では新型AH1pdmが34都道府県から計1,680件、季 節性AH1亜型が8都府県から計12件、AH3亜型が14府県から計69件報告されている。第27週以 降、B型は報告されていない。

また、輸入例からの検出が大きく増加しており、第27~31週にAH1亜型が7件(中国4件、フィ リピン2件、ニュージーランド1件)、AH3亜型が23件(中国7件、タイ4件、グアム3件、マレーシア2 件、カンボジア、フィリピン、パプアニューギニア、中国・シンガポール、オーストラリア、アラブ首長 国連邦、ブラジル各1件)、新型AH1pdm(*)が272件(ハワイ59件、米国、フィリピン各39件、オー ストラリア23件、グアム22件、タイ20件、中国11件、ニュージーランド9件、インドネシア8件、カナ ダ6件、韓国、英国各5件、シンガポール3件、マレーシア、ミャンマー、イタリア、スペイン各2件、 台湾、ベトナム、カンボジア、インド、チェコ、マーシャル諸島、ブラジル、タイ・フィリピン、マレー シア・シンガポール、マレーシア・フランス、シンガポール・オーストラリア、米国・ハワイ、タイ・シン ガポール・香港、フィリピン・タイ・オーストラリア、渡航先不明各1件)報告されている。

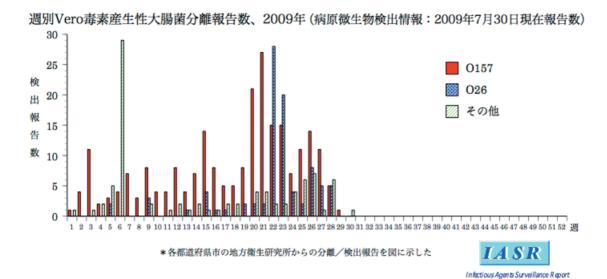
*WHOが新型インフルエンザウイルスの名称を変更したのに伴い、略称をAH1v AH1pdmに 变更。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html を参照ください。

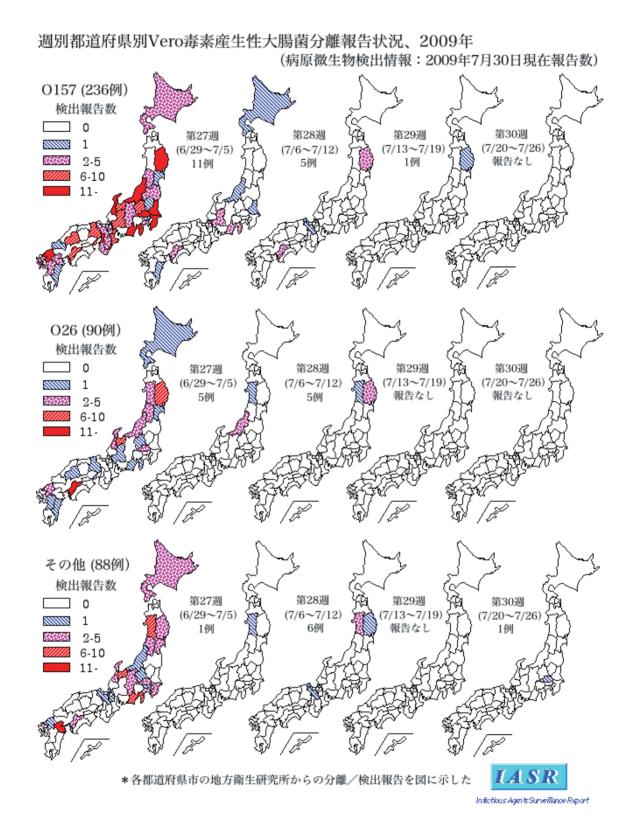


ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1~30週(12/29~7/26)までの検出総数は416件で、第5~6週に大分県の保育所での集団発生から0121が31件、第14~16週に新潟県のホテルでの集団食中毒から0157が17件、第20週に福岡県で中国ツアー参加者から0157が6件、第21~22週に兵庫県の福祉・養護施設での集団発生から0157が5件、第22~23週に愛媛県の保育所での集団発生から026が46件、第26~27週に新潟県の小児集団発生から026が5件検出されている。



2009年1~7月にO157が34都道府県から236件、O26が18道県から90件、その他の血清型が21 都道府県から88件報告されている。





腸チフス 2008年(2009年3月10日現在)

腸チフスはチフス菌(Salmonella Typhi)の感染によって起こる全身性感染症である。一般のサル モネラ感染症とは区別され、パラチフスとともにチフス性疾患と総称される。チフス菌の感染はヒト に限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の便と尿、それらに汚染された食品、水、 手指が感染源となり、経口的に感染する。通常は1~3週間の潜伏期の後、発熱で発症する。熱 は段階的に上昇して39~40 に達する。主要症状は発熱の持続で、他に特記すべき症状がない ことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない), バラ疹(高熱時に出現して数時間で 消える)、脾腫が3主徴とされるが、これらの出現率は30~50%程度である。便秘、時には下痢の みられることもある。また、昏迷状態など意識障害を起こすこともある。合併症として腸出血、それ に続く腸穿孔を起こすことがあるが、ニューキノロン薬が治療に使用されるようになってからは稀と なった。しかし最近、ニューキノロン系薬低感受性菌の増加、耐性菌の出現が問題となっている。

腸チフスは感染症法(1999年4月施行)に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体 保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。その後、法改正(2007年 4月施行)により3類感染症に変更され、現在は患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似 症患者は対象外)である。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者 に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健診などにおいて発見され ている。

2008年の報告数(診断週が2008年第1~52週のもので、2009年3月10日までに報告されたもの) は57例であった。過去の年間累積報告数は、2000年86例、2001年65例、2002年62例、2003年 63例、2004年71例、2005年50例、2006年72例、2007年47例であり、2008年は感染症施行以降の 年間報告数として、2007年、2005年に次いで3番目に少ない報告数であった(図1)。57例は、患 者55例、無症状病原体保有者2例であった。無症状病原体保有者は、1例は胆石の手術により発 見され、もう1例は過去に腸チフス治療歴があり、尿中白血球数増多の精査により発見された 尿 路感染ではないと判断されている)

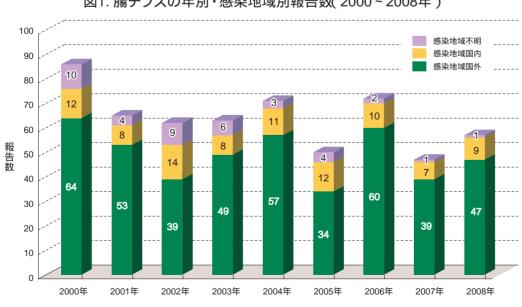


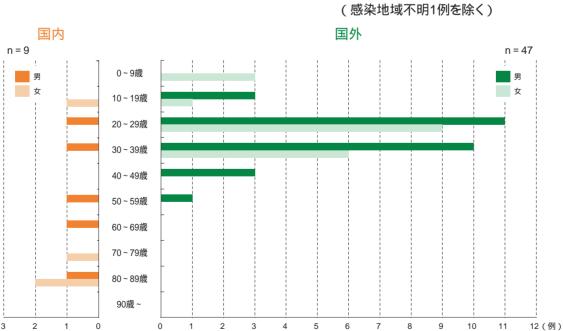
図1. 腸チフスの年別・感染地域別報告数(2000~2008年)

全57例の性別は男性33例、女性24例で、年齢中央値は29歳(0~86歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内9例、国外47例、不明1例であった。死亡例の報告はなかった。

患者55例で報告された症状は、高熱52例、下痢35例、脾腫21例、比較的徐脈14例、便秘7例、 腸出血1例、腸穿孔1例、意識障害1例であった(以上は届出様式に記載されていて選択された症 状)。また、その他の症状として、頭痛、腹痛、嘔気・嘔吐、呼吸困難、筋肉痛、皮下膿瘍、多臓 器不全などの自由記載があった。

病原診断は細菌培養による菌の分離・同定により行われるが、検体の種類は、患者(55例)では血液44例、血液および便3例、血液および尿1例、便5例、骨髄液1例、皮下膿瘍1例であった。無症状病原体保有者(2例)では胆汁1例、尿1例であった。(薬剤感受性検査やファージ型別等の菌の詳細な検査は、治療上、疫学情報上有用であり、国立感染症研究所において検査を実施して動向監視しているので、菌株の提供を保健所を通じて医療機関にお願いしている。結果は病原微生物検出情報 http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-cj.html に隔月に掲載しているので、ご参照ください。)

国内を感染地域とする9例(男性5例、女性4例)について年齢群別にみると、10代1例、20代1例、30代1例、50代1例、60代1例、70代1例、80代3例(年齢中央値69歳)であった(図2)。患者8例(無症状病原体保有者1例を除く)のうち、発症日の記載があった7例の発症月は、2、3、5、7、8、9、11月であった(図3)。また、いずれも散発例であり、多くが感染源・感染経路は不明であるが、記載のあった3例のうち1例は下水処理従事者であり汚水からの経口感染が、2例は過去に腸チフスに罹患歴があり長期保菌者であったためと推定されていた。



報告数

図2. 腸チフスの感染地域別・性別・年齢群別報告数(2008年)n=56

報告数

国外を感染地域とする47例(男性28例、女性19例)について年齢群別にみると、10歳未満3例、10代4例、20代20例、30代16例、40代3例、50代1例(年齢中央値29歳)で、特に20代、次いで30代、10代の順に多かった(図2)。患者47例のうち、発症日の記載があった42例について発症月をみると、9月9例)、3月と10月5例)に多かった(図3)。感染地域別では、南アジアが36例(インド23例、インド/ネパール6例、ネパール4例、バングラデシュ2例、パキスタン1例と最も多かった。他は多い順に、東南アジアが9例(インドネシア6例、フィリピン1例、タイ1例、ベトナム1例)、南アジア/東アジア1例(インド/ネパール/台湾)、南アジア/中東/東南アジア1例(インド/イラン/タイ)であった(図4)。

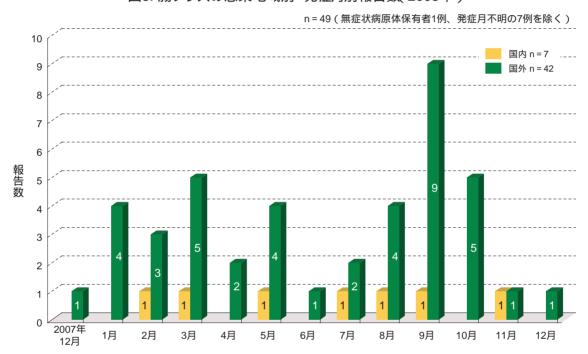
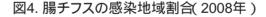
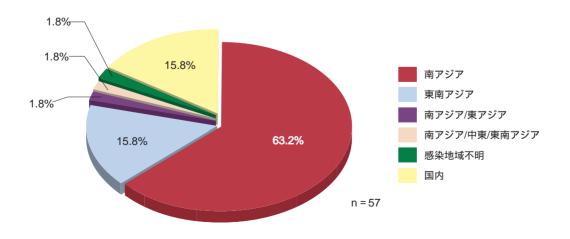


図3. 腸チフスの感染地域別・発症月別報告数(2008年)





予防のためのワクチンとしては、新世代の経口生ワクチン、および注射不活化ワクチン(莢膜多糖体ワクチン)があり、欧米先進国では流行地への渡航者を対象に接種されている。しかし、わが国ではいずれも未認可であるため、一部の医療機関や予防接種センターなどで、個人輸入により接種が行われている。ニューキノロン低感受性菌・耐性菌の存在、流行地への赴任者等での需要、ワクチンの安全性と有効性などから、今後わが国でも認可されることが望まれるワクチンである。

感染症予防の基本は感染経路の遮断であるので、日頃から手洗いの励行を心がけ、流行地への渡航などでは生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

他に、腸チフスの発生状況に関する情報として、週報(IDWR)速報、病原微生物検出情報 (IASR)特集:腸チフス・パラチフスを参照できます。

http://idsc.nih.go.jp/disease/typhoid/index.html からご覧ください。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

パンデミック(H1N1)2009 短報: no.5 - 妊婦における新型インフルエンザ

2009年7月31日

7月29日に雑誌Lancetに掲載された、アメリカで行われた研究報告(Jamiesan DG et al. H1N1 2009 influenza virus infection during pregnancy in the USA. Lancet 2009; published online July 29, 2009 は、H1N1パンデミックウイルスに感染した妊婦における重症化のリスクの増加、および致死率の上昇という結果が関心を集めた。

パンデミックウイルスが広範囲に感染伝播している他の国からも、妊婦の、特に妊娠第2期、および第3期における重症化のリスクの増加が報告されている。感染した妊婦では、胎児死亡や流産のリスクの増加も指摘されている。

妊婦におけるリスクの増加

過去のパンデミックから得られたエビデンスも、妊婦がハイリスク群であることを裏付けている。

妊婦は、季節性インフルエンザの流行時でもハイリスク群であるが、季節性インフルエンザと比較して、より若い世代が感染している今回のパンデミックウイルスの流行では、妊婦がハイリスク群であることが、さらに重要な意味を持っている。

WHOは、パンデミックウイルスが広く流行している地域においては、妊婦や妊婦の治療にあたる医療従事者は、インフルエンザ様症状に対して注意を怠らないよう勧告している。

WHOの治療に関する推奨

抗ウイルス薬であるオセルタミビルによる治療は、症状出現後速やかに行われるべきである。 オセルタミビルによる治療効果は、症状出現後48時間以内に投与が開始された場合に最も高い といわれており、医療者は検査結果を待たず、すぐに治療を開始すべきである。

症状出現後48時間以内の治療開始が最も効果があるとはいえ、それ以降の治療開始でも効果は期待できる。オセルタミビルによる治療効果は、感染者の死亡原因として最も頻度が高い肺炎のリスクを下げ、入院の必要性も下げる。

WHOはさらに、ワクチンが使用可能となれば、各国の保健当局は妊婦をワクチン接種の最優先グループにすることを推奨している。

患者における危険な兆候

世界各国からの報告によると、パンデミックウイルスに感染したほとんどの患者は、症状が軽症で、治療を受けなくても1週間以内に完治している。また、複数のアウトブレイクから得られたウイルスを調査した結果、感染拡大をしやすくしたり、症状の重症化を促したりするようなウイルス自身の変異が起こっている事実は認められていない。

妊婦に加えて重症化や死亡のリスクが高いグループは、喘息を含む慢性肺疾患、心血管系疾患、糖尿病、免疫抑制などの基礎疾患を持っている人である。いくつかの研究の暫定的な研究結果では、肥満、特に高度の肥満は重症化のリスクとなりうることが示されている。

これらのハイリスクグループは、大部分は想定内である一方、通常は問題のない50歳以下の健常者のごく一部に、肺組織が破壊される重症な肺炎と多臓器不全を特徴とする、急激な症状の進行と、多くの場合致死的な経過をたどる症例が認められる。このような症例を予測できる因子は今のところ見つかっていないが、研究は進行中である。

臨床医、患者、そして在宅医療提供者は重症化へ進行することを予測させる危険な症状に注意すべきである。進行が急速であるため、次に示す危険な症状がパンデミックウイルス感染確定例、あるいは疑い例に現れた場合は医療機関受診を考慮すべきである:

運動時、あるいは安静時の息切れ 呼吸困難 蒼白 血痰、あるいは色の付いた痰 胸痛 精神状態の変調 3日以上続く高熱

小児では、危険な前駆症状は呼吸数の増加、あるいは呼吸困難、注意散漫、覚醒困難、そして遊ぶことに対して興味を示さないといったものも含まれる。

パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報告数

2009年7月31日 - 更新60

低血圧

7月31日現在、168の国や地域で、1例以上のパンデミックインフルエンザ(H1N1)2009検査診断例が報告され、国/地域内での流行が報告されている。

前回の更新時(2009年7月27日)以降、7月31日までに、新型インフルエンザの初発患者を報告した国や地域は以下のとおりである。

アゼルバイジャン、ガボン、グレナダ、カザフスタン、モルドバ、モナコ、ナウル、スワジランド、スリナム

WHO発表の症例数 (日本時間 2009年7月31日 現在)

111.1-15.5-	累記	it
地域名	確定例	死亡例
WHOアフリカ地域 (AFRO)	229	0
WHOアメリカ地域 (AMRO)	98,242	1,008
WHO東地中海地域 (EMRO)	1,301	1
WHOヨーロッパ地域 (EURO)	26,089	41
WHO東南アジア地域 (SEARO)	9,858	65
WHO西太平洋地域 (WPRO)	26,661	39
総計	162,380	1,154



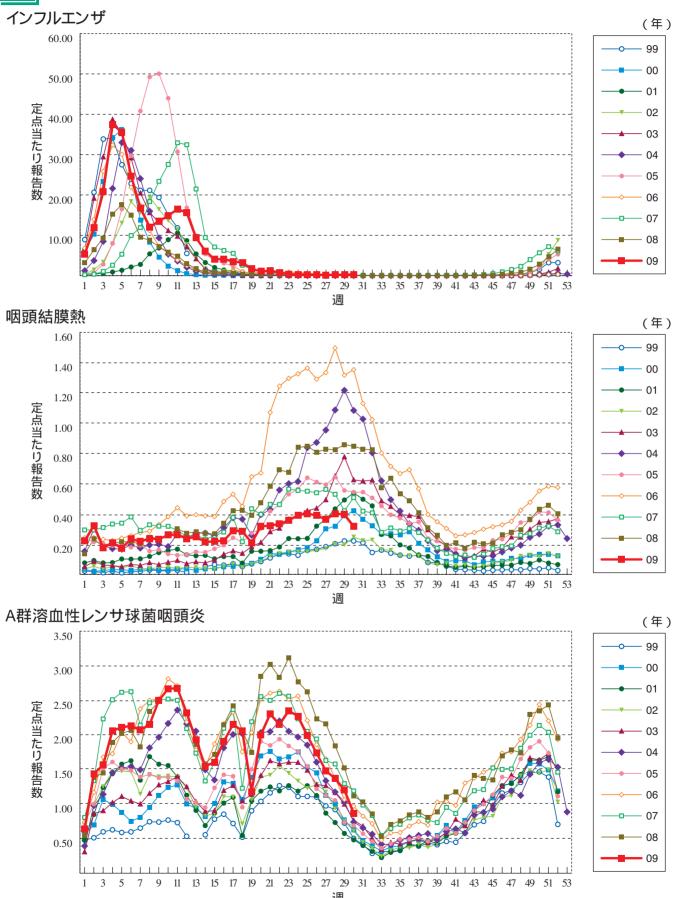
感染症の話

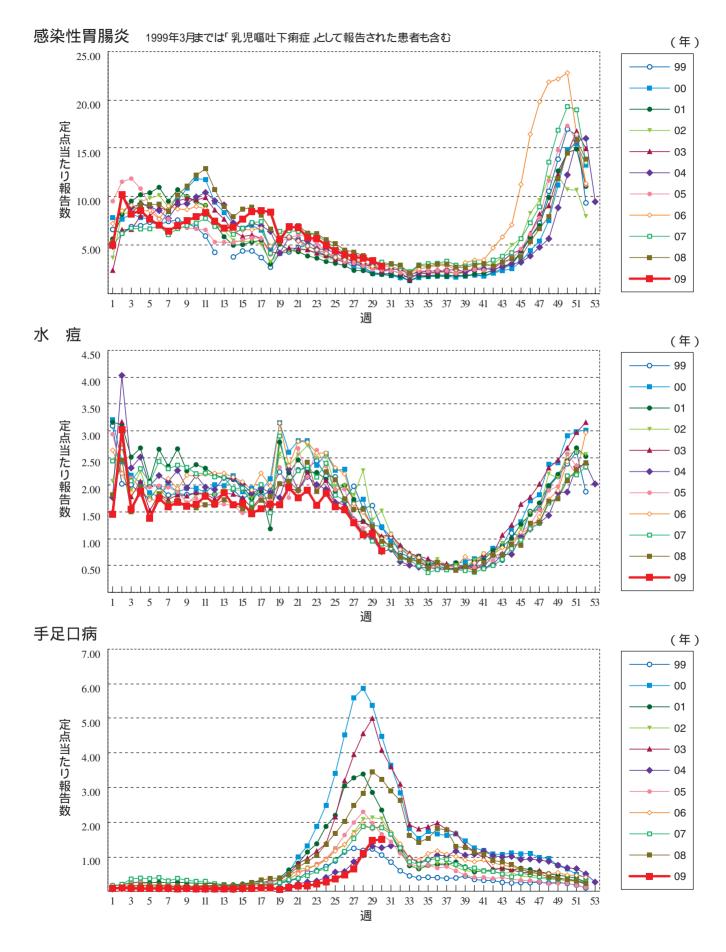
今週はお休みさせていただきます。 「感染症の話」過去の掲載分については http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html でご覧いただけます。

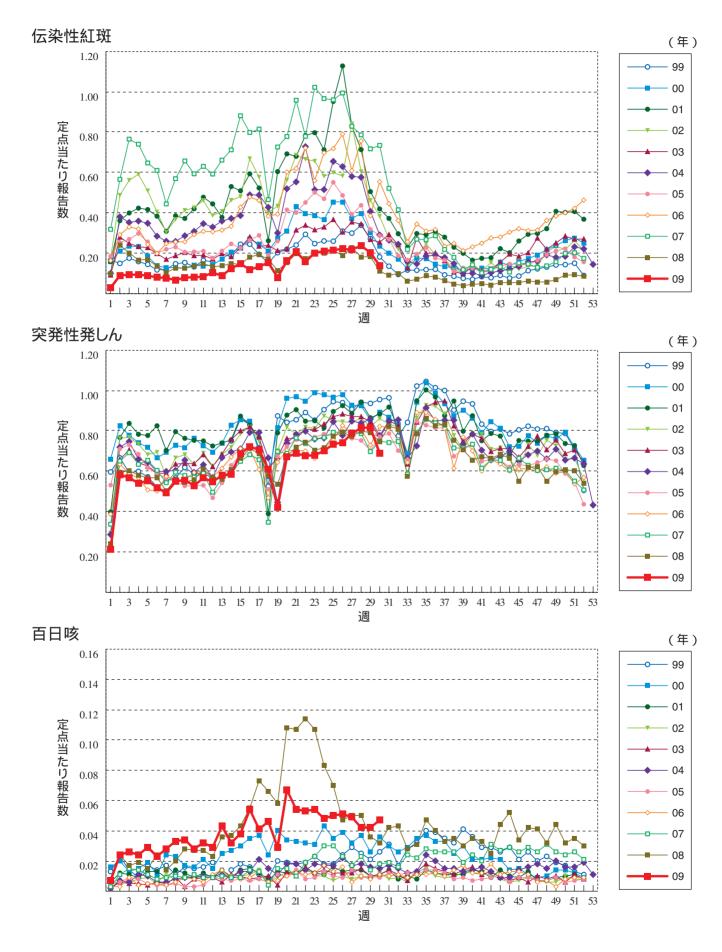


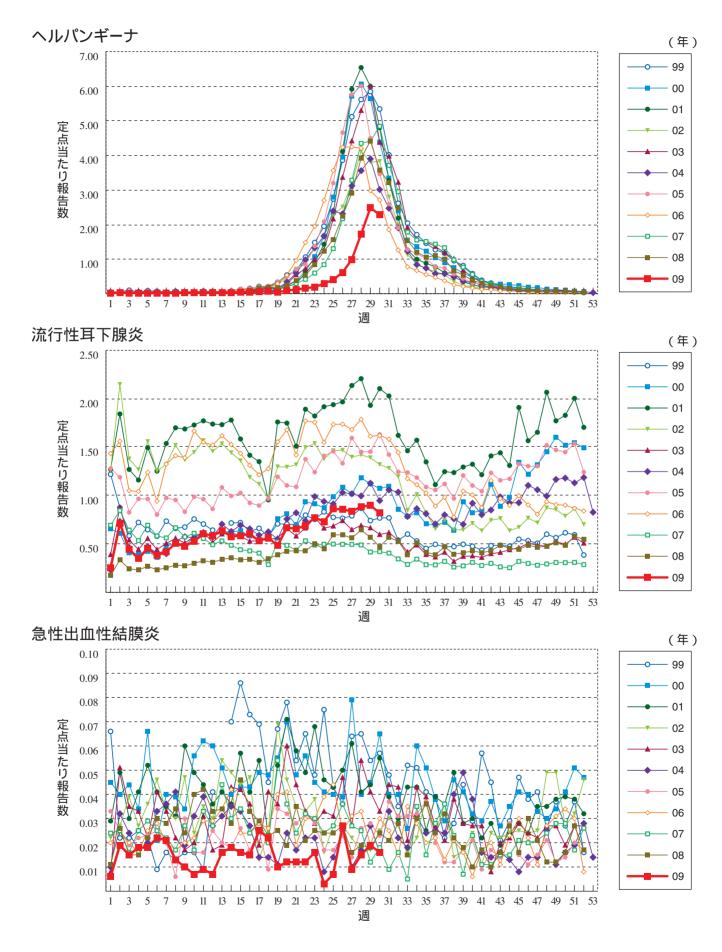


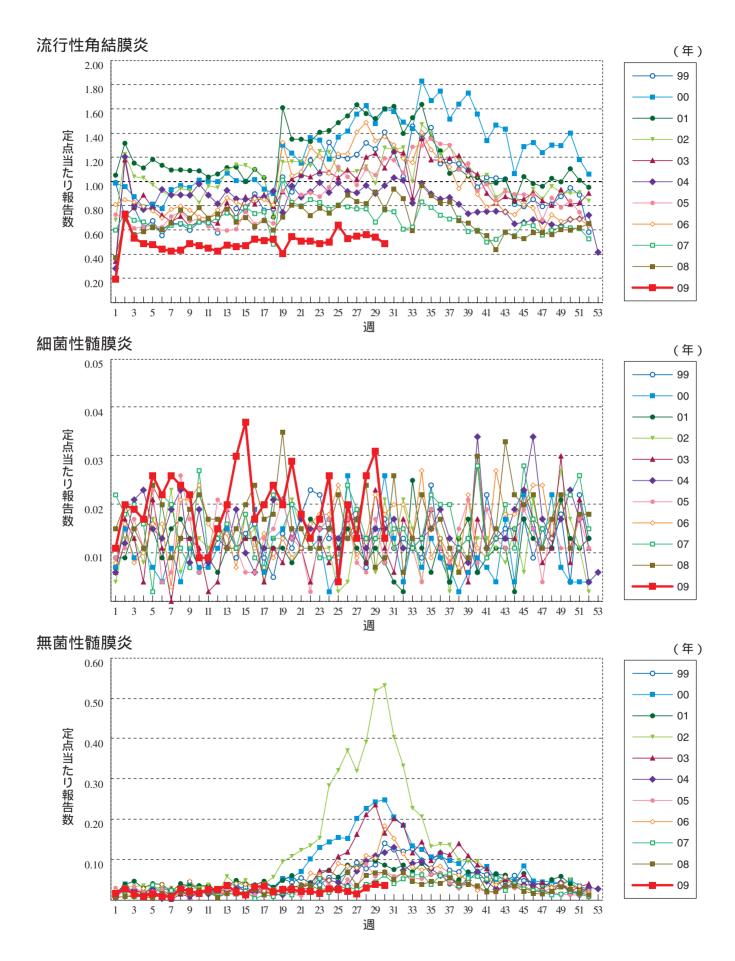
グラフ総覧(30週)

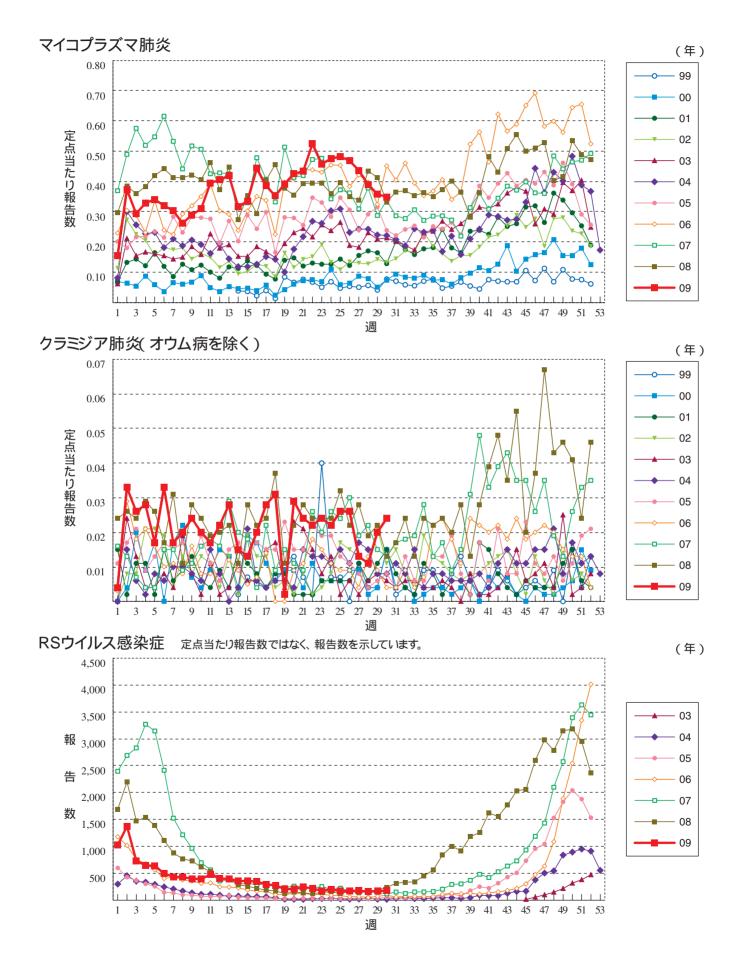














30**週のデータ**

注)表中の報告数は7月29日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

「		エボラと	出血熱	クリミ ・コンゴ!	ア出血熱	<u></u> 痘 そ	う	南米出	血熱	ペス	۲	マールブ	ルグ病	ラッサ	対熱	急性灰白	1髄炎	結	 核
大分回 1988 1989		報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
解数	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	251	14804
世界の	北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	439
	青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	198
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	104
山野標	宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	193
福島県 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81
	山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	110
勝林県	福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	172
群馬県	茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	276
特別	栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	181
中等原	群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	90
東京都	埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	702
神奈川県	千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	835
新潟県	東京都																	25	2265
當山県 1 1 1 3 115 石川県 1 1 3 106 田梨県 1 1 1 1 1 田梨県 1 1 1 1 1 1 岐阜県 1 </td <td>神奈川県</td> <td>-</td> <td>26</td> <td>1075</td>	神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	1075
日本	新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	187
棚井県 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	115
山梨県	石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	106
長野県 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	91
岐草県	山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66
静岡県 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	157
登知県	岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	283
三重県	静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	396
注資県	愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1130
京都府	三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	217
大阪府	滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	156
兵庫県 10 507 奈良県 10 507 奈良県 163 和歌山県	京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	355
奈良県	大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	799
和歌山県 5 163 信報	兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	507
島取県	奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	163
島根県	和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	163
岡山県	鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
岡山県	島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	90
広島県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	153
山口県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	341
徳島県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	162
香川県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
愛媛県 -		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
高知県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
福岡県 10 650 佐賀県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
佐賀県 - - - - - - - - - - 8 115 長崎県 -		-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	_	-		
長崎県 -		-	_	_		_	_	_	_	_	-	-	_	_	-	_	_		
熊本県 -			-	-					_	-				_		-			
大分県 - - - - - - - - - - - - - 6 161 宮崎県 - <		-	-		-	_	-	_	-	_	-	-	-	_	-	_			
宮崎県 -			_		_	_	_		_	_	_		_	_	_	_	_	6	
鹿児島県 4 214																			
CLIMM ATE	沖縄県		_	_			_			_	_		_	_	_				168

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

2009年30调

	ジフテ	リア	重症無		鳥イン エンザ(I		コレ	・ラ	細菌性	赤痢	腸管出 大腸菌!		腸チ	フス	パラチ	フス	E型朋	T 炎
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	5	1	96	107	1414	-	18	1	12	-	27
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	36	-	1	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	21	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	49	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	7	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	24	-	-	_	-	-	-
 埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	_	2	6	44	-	1	_	-	-	-
 千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	2	69	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	1	21	17	100	-	9	1	5	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	2	73	-	-	_	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	_	-	_	-	-	37	-	-	_	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	_	1	_	2	-	18	-	-	_	-	-	-
石川県	_		_			-	_		_	2	4	39	_		_		-	_
福井県	_		_			-	_		_	_	1	26	_		_		-	_
山梨県				_		-	_			_	-	2			-		-	_
長野県										2	_	9						
岐阜県										2	_	12						_
静岡県	_									1	-	26		1				2
愛知県									_	9	6	73		2	_	3		2
三重県			_				_		_	5	-	8	_		_			2
滋賀県											1	5						1
京都府							_			1	-	26						<u> </u>
大阪府								1		2	7	63		1				
兵庫県										1	7	73					_	_
奈良県										2	-	9						
和歌山県											_	13						
鳥取県												3						
島根県											1	6						
岡山県										2	1	34		1				1
四四宗 広島県											5	43		-				-
山口県										1	-	21						
徳島県												4						
個馬宗 一 香川県	-		-	-	-	-			-	-			-		-	-	-	
	-		-	-	-	-	-		-	-	9	21	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	- 4
福岡県	-		-	-	-		-		-	5	2	104	-			-	-	1
佐賀県	-		-	-	-	-	-		-	-	4	10	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	62	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	15	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

	ウエスト:	ナイル熱	A型原	 肝炎	エキノコッ	ソクス症	黄	熱	オウム	 3病	オムスク	出血熱	回帰		キャサ 森 林	ヌル 病	Q	熱
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数 ———————————————————————————————————	-	-	1	78	-	14	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	10	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	_	-	-	_	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

	хт ц	· 👍	7.5	2,27	44.11	. ·信	(型) 中心と	山血熱	亚 如 宀	フツタ	ガー#	心 脚火	<u></u>	店	774	ள்∉	=",/	ず赤わ
	狂力	、	オイデ	シシ 『ス症 	サル	· 浢	腎症候性	出皿熟	西部ウ*	く脳 交	ダニ媒:	介脳 灾	炭	祖	つつか	'出抦	デンク	ノ 熟
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	105	-	36
海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1
京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12
宗川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
川県	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
井県	-	-	-	-	_	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
梨県	-	-	-	-	_	-	-	-		-	-	-	-	-	-	1	-	-
野県	-			_	_	_		_					-	_		3	-	_
阜県	-																	-
 岡県	_												-					2
- 571 知県																1		3
重県	_			_									-	_		1		_
賀県																		
都府																		2
阪府					_											_		8
庫県				_				_										
良県																		_
歌山県						_										5		_
取県																1		
根県																3		
山県																		
島県																2		
																-		
島県																2		
川県																		
川宗 媛県																		
<u> </u>	-	-	-	-	-	-	-	<u> </u>	-	-	-	-	-		-	<u> </u>	-	
岡県 	-	-	-	-		-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	1
賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	1	-	
崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1を除く。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

2009年30调

報告数・累積	東部ウ		鳥インフル	レエンザ*	ニパウ・感効	イルス	日本紅	 I斑熱	日本原	脳炎	ハンタウ	アイルス	Bウイノ	レス病	鼻	疽	ブルセ	2009年30년 ラ症
	報告数	累積	報告数	累積	感染 報告数		報告数	累積	報告数	累積	肺症 報告数		報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
 総数	-	-	-	-	-	-	1	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
 青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
 岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
———— 秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
 埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
 千葉県	-	-	_	-	_	_	1	4	_	_	-	-	_	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	_	_		_	_	_		_	_		_	_	_	_	_	_	_	-
新潟県	_	-	_	-	_	_	_	_	_	_	_	-	-	-	-	-	_	-
富山県	_	-	_	-	_	_	_	_	_	_	_	-	-	-	-	-	_	-
石川県	_	_	_		-						-	_	_				_	_
福井県	_	_	_		-					-	-	_	_				_	_
山梨県	_	_	_		-						-	_	_				_	_
長野県	_	_	_		-				_	_		_	_		_		_	_
岐阜県																		_
静岡県	_		_										-					_
愛知県	_		_					1					_					_
三重県		_			_			9				_	_				_	
滋賀県	_		_		_													_
京都府		_	_		_							_	_				_	-
大阪府	_	_	_		_							_	_				_	_
兵庫県		_	_		-			2				_	-				_	_
奈良県	_	-		-	-	-	_	_	_	_	-	-	-	-	-	_	-	_
和歌山県	_	_	_		_			2				_	_		-		_	_
鳥取県			_										_					_
島根県	-	-	-	-	-	_	-	1	_	-	-	-	-	-	-	_	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-		_	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	6	_	-	-	-	-	-	-	_	-	-
山口県								-					-					_
徳島県								1					-					_
香川県													-					
愛媛県								1					-					
高知県								<u> </u>										
福岡県																		
佐賀県																		
長崎県																		
熊本県								4										
大分県								-										
スカ宗 一 宮崎県								4										
西崎宗 一 鹿児島県								4										
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

報告数・累積	ベネス		ヘンドラ' 感 ¾	ウイルス ま症	発しん	チフス	ボツリ	ヌス症	マラリ	Jア	野兎	病	ライ	 公病	リッサウ 感 済	バルス は ば	リフトバ	レー熱
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	6	35	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
 佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別

2009年30週

	類身	車疽	レジオ	ネラ症	レプトス	ピラ症	ロッキ 紅 斑		アメーノ	「赤痢	ウイルス	性肝炎*	急性脳	公炎**	クリ: スポリジ		クロイツ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	11	373	1	6	-	-	5	461	2	122	6	125	-	12	1	69
 比海道	-	-	-	11	-	-	-	-	-	12	-	1	-	2	-	2	-	1
青森県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-
当手県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	11	-	-	-	-	2	12	-	4	-	-	-	-	-	-
火田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
 	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	2
	-	-	-	10	_	-	_	_	_	4	_	2	_	4	_	_	_	2
5木県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	5	-	2	1	3	-	-	-	1
*************************************	_	-	_	7	-	_	-	-	-	4	-	5	-	2	_	_	-	2
			_	16						14		10		9				2
· <u>·</u> ··莱県	-			13		1				36		1	-	11	_		-	1
京都			1	27		<u> </u>				73	1	22	2	14	_	1		9
*************************************			2	22		1				39	· ·	7	1	3		<u> </u>	1	7
「ボバボー」 「潟県			-	9		1				5				7	_			
山県				13		<u> </u>				4		1	-	1			_	
				10					_	6		<u> </u>		<u> </u>				
-///ボ 計県				3										1				
^{≝开东} ── 」梨県				3								1		4				1
野県				8						2				3				2
さずた 				16						7								1
阿県 	-	-	-	15	-		-		-	7	1	1	-	2	-		-	
を知県 	-			18		-			-	30	-	7	-	3	-		-	5
重県	-		-	7	-	1	-		1	2	-	-	-	1	-		-	4
対 原	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	-	-	-	1
都府	-		1	9					1	15	-	5	-	2	-		-	
大阪府 - 京県	-		-	19	-	-	-	-	-	56	-	9	2	19	-		-	4
庫県	-	-	3	20	-	-	-	-	-	25	-	9	-	-	-	-	-	1
· 良県	-		-	3	-	-	-	-	-	8	-	1	-		-	-	-	1
歌山県	-		-	5	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	
界工具	-		-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
山県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	11	-	5	-	2	-	-	-	-
島県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	5	-	8	-	4	-	-	-	3
口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	2
5島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
川県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
發 県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-
知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-
岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	1	12	-	4	-	2	-	-	-	3
賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	1	-	-	-	2
本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-
高崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	5	-	-	-	-
児島県	-	-	1	5	1	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-
·縄県	-	_	_	5	_	1	_	_	_	3	_	_	_	_	_	_	_	_

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

一	T			いってへ	52711	``¬,=	£+0± /L	±44	# T W G	11 /	1=	±	7 th 1/2	= F1	1100	 		2009年30旭
	劇症型 レンサ球		後天性免症		ジアル	シア征 	髄膜炎 髄膜炎		先天性風 症 候	ilしん 群	梅	毒	破傷	計風,	バンコマイ 黄色ブドウ ^E		バンコマイ: 腸球菌原	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積 ————
総 数 ————	-	75	12	845	2	47	-	9	-	-	6	417	-	59	-	-	2	54
北海道	-	3	-	19	-	3	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	3
青森県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	16	-	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	11	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	
埼玉県	-	4	-	19	-	-	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	3	-	26	-	2	-	2	-	-	-	12	-	4	-	-	-	3
東京都	-	8	8	276	1	15	-	1	-	-	4	116	-	3	-	-	-	8
神奈川県	-	5	-	50	-	5	-	1	-	-	-	22	-	2	-	-	-	
新潟県	-	-	-	6	-		-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-						-	-		-	2	-				-	-
山梨県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
長野県	-	1	-	7	-	-			-		-	3	-	3			-	2
岐阜県	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	17	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	8	-	53		1		1	-			25	-	2			-	1
三重県	-	-	-	4	-		-		-		-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	1	-	12	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	6	-	141	-	7	-	-	-	-	-	47 7	-	4	-	-	1	
兵庫県 奈良県		3	-	28 8	1	1	-				-	2	-	1	-			
和歌山県		3		4								2		2				
鳥取県				2								5						
島根県		2										1						<u> </u>
岡山県			-	6							-	3		1				1
広島県		3	1	15		1						3		1				<u>'</u>
山口県			<u> </u>	3					_		_	4	_	2			_	
徳島県				3								1						
香川県		2		-								3		1				
愛媛県		1		2					_			4		<u> </u>				
高知県				1								5						
福岡県		1		28		1		2				35		2			1	5
佐賀県				3		<u> </u>					1	2						
長崎県				6		1	_					3						
熊本県				8		<u> </u>		1				14	_	2			_	3
大分県				5				<u> </u>				4	_	2	_		_	
宮崎県		1		1		1						6		3				
鹿児島県		-	1	7		<u> </u>						1		4				
沖縄県			<u> </u>	12								4	-	<u>·</u> 1				
. 1 1100/1																		

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

	風, し	h	麻し	h
	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	107	10	513
 北海道	-	4	-	11
 青森県	-	-	-	7
 岩手県	-	-	-	2
	-	1	-	5
 秋田県	-	1	-	
 山形県	-	-	-	7
福島県		1		6
茨城県	-	2	-	8
栃木県	-	2	-	10
 群馬県	-	_	1	8
埼玉県	-	4	1	35
 千葉県	_	7	1	74
東京都	_	8	2	76
神奈川県	1	11	3	68
新潟県	_	1	_	9
37777978 富山県				2
<u> </u>		1		
<u></u> 福井県				4
山梨県				1
 長野県				10
<u> </u>		2		5
************************************	_	-	_	10
野岡宗 愛知県	-	4	2	21
至州宗 三重県		2		1
		2		<u>'</u> 1
^{滋复宗} —— 京都府		1		7
大阪府		11		43
へ PX M3 兵庫県			-	3
共 <u></u> 年宗 奈良県		5 2	-	3
示及宗 和歌山県			-	
和敬山宗 鳥取県	-	3		7
	-			
島根県	-	1	-	-
岡山県 	-	2	-	6
広島県	-	3	-	10
山口県 徳島県	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	5
高知県	-	1	-	-
福岡県 	-	21		20
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県 	-	-	-	-
大分県	-	2	-	
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	4

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数,疾病・都道府県別

2009年30调

報告数・定点	当り報告	数,疾病	・都道府	県別													:	2009年30词
	インフ	ルエンザ*	咽頭	結膜熱	1	溶血性 《菌咽頭炎	感染性	上胃腸炎	水	痘	手足	2口病	伝染物	生紅斑	突発性	主発しん	百日	咳
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数 5	E点当り
総数	1312	0.28	957	0.32	2614	0.87	8647	2.86	2327	0.77	4532	1.50	419	0.14	2080	0.69	142	0.05
北海道	8	0.04	139	0.97	257	1.80	223	1.56	132	0.92	9	0.06	11	0.08	63	0.44	6	0.04
青森県	-	-	5	0.12	39	0.93	58	1.38	29	0.69	153	3.64	4	0.10	25	0.60	1	0.02
岩手県	5	0.08	7	0.18	25	0.63	117	2.93	24	0.60	3	0.08	1	0.03	25	0.63	-	-
宮城県	5	0.05	21	0.35	54	0.90	211	3.52	62	1.03	6	0.10	4	0.07	61	1.02	-	-
秋田県	1	0.02	14	0.40	35	1.00	101	2.89	16	0.46	51	1.46	3	0.09	11	0.31	-	-
山形県	-	-	10	0.33	48	1.60	82	2.73	26	0.87	4	0.13	5	0.17	21	0.70	-	-
福島県	7	0.09	12	0.25	37	0.77	86	1.79	45	0.94	9	0.19	11	0.23	38	0.79	3	0.06
茨城県	33	0.28	30	0.40	77	1.03	104	1.39	29	0.39	50	0.67	8	0.11	23	0.31	4	0.05
栃木県	19	0.25	1	0.02	37	0.77	81	1.69	31	0.65	199	4.15	-	-	26	0.54	7	0.15
群馬県	5	0.05	5	0.08	58	0.94	173	2.79	44	0.71	35	0.56	1	0.02	39	0.63	2	0.03
埼玉県	51	0.22	72	0.47	198	1.29	427	2.79	134	0.88	124	0.81	31	0.20	126	0.82	3	0.02
千葉県	58	0.28	35	0.27	110	0.83	317	2.40	90	0.68	278	2.11	22	0.17	108	0.82	9	0.07
東京都	82	0.29	35	0.24	117	0.80	437	2.97	79	0.54	187	1.27	31	0.21	91	0.62	9	0.06
神奈川県	40	0.13	44	0.22	219	1.09	553	2.75	128	0.64	467	2.32	149	0.74	174	0.87	2	0.01
新潟県	3	0.03	34	0.56	81	1.33	106	1.74	50	0.82	46	0.75	2	0.03	46	0.75	2	0.03
富山県	-	-	6	0.21	30	1.07	100	3.57	15	0.54	5	0.18	-	-	26	0.93	-	-
石川県	14	0.29	18	0.62	16	0.55	108	3.72	22	0.76	12	0.41	-	-	20	0.69	1	0.03
福井県	6	0.19	8	0.36	32	1.45	136	6.18	27	1.23	2	0.09	-	-	17	0.77	-	-
山梨県		-	3	0.13	24	1.04	41	1.78	10	0.43	13	0.57	3	0.13	13	0.57	-	-
長野県	19	0.22	12	0.22	46	0.84	131	2.38	66	1.20	14	0.25	1	0.02	40	0.73	1	0.02
岐阜県	19	0.22	11	0.21	20	0.38	83	1.57	30	0.57	96	1.81	1	0.02	24	0.45	-	-
静岡県	31	0.25	15	0.18	56	0.67	255	3.04	42	0.50	106	1.26	4	0.05	54	0.64	-	-
愛知県	55	0.28	68	0.38	115	0.64	487	2.69	177	0.98	156	0.86	15	0.08	138	0.76	1	0.01
三重県	15	0.22	6	0.13	27	0.60	162	3.60	41	0.91	24	0.53	10	0.22	35	0.78	-	-
滋賀県	30	0.58	10	0.32	15	0.48	101	3.26	11	0.35	62	2.00	-	-	15	0.48	-	-
京都府	31	0.25	11	0.15	37	0.49	199	2.65	49	0.65	68	0.91	6	0.08	33	0.44	-	-
大阪府	212	0.74	64	0.34	137	0.72	641	3.36	164	0.86	173	0.91	24	0.13	122	0.64	9	0.05
兵庫県	56	0.28	26	0.20	74	0.57	442	3.43	89	0.69	118	0.91	16	0.12	78	0.60	4	0.03
奈良県	8	0.15	17	0.49	21	0.60	103	2.94	18	0.51	31	0.89	3	0.09	17	0.49	-	-
和歌山県	4	0.08	7	0.23	17	0.55	49	1.58	35	1.13	21	0.68	5	0.16	17	0.55	2	0.06
鳥取県	5	0.17	1	0.05	25	1.32	69	3.63	15	0.79	9	0.47	1	0.05	18	0.95	1	0.05
島根県	3	0.08	5	0.22	29	1.26	94	4.09	18	0.78	19	0.83	3	0.13	27	1.17	-	-
岡山県	3	0.04	13	0.24	16	0.30	244	4.52	23	0.43	39	0.72	2	0.04	22	0.41	2	0.04
広島県	32	0.28	22	0.31	43	0.61	215	3.03	40	0.56	27	0.38	12	0.17	48	0.68	7	0.10
山口県	14	0.20	10	0.20	70	1.40	160	3.20	33	0.66	28	0.56	9	0.18	41	0.82	8	0.16
徳島県	4	0.11	9	0.39	20	0.87	73	3.17	28	1.22	18	0.78	-	-	18	0.78	-	-
香川県	3	0.06	6	0.21	20	0.71	90	3.21	23	0.82	4	0.14	3	0.11	20	0.71	1	0.04
愛媛県	1	0.02	24	0.65	16	0.43	149	4.03	25	0.68	210	5.68	6	0.16	22	0.59	1	0.03
高知県	3	0.06	10	0.33	17	0.57	77	2.57	14	0.47	-	-	-	-	17	0.57	3	0.10
福岡県	49	0.25	26	0.22	92	0.77	475	3.96	132	1.10	1036	8.63	-	-	106	0.88	12	0.10
佐賀県	2	0.05	6	0.26	11	0.48	30	1.30	22	0.96	112	4.87	3	0.13	22	0.96	-	-
長崎県	9	0.13	3	0.07	14	0.32	91	2.07	29	0.66	67	1.52	1	0.02	25	0.57	1	0.02
熊本県	4	0.05	5	0.10	26	0.54	167	3.48	22	0.46	168	3.50	-	-	42	0.88	2	0.04
大分県	3	0.05	15	0.42	38	1.06	199	5.53	33	0.92	176	4.89	1	0.03	33	0.92	-	-
宮崎県	6	0.10	19	0.53	59	1.64	200	5.56	71	1.97	62	1.72	3	0.08	43	1.19	37	1.03
鹿児島県	6	0.06	26	0.47	44	0.80	147	2.67	68	1.24	26	0.47	2	0.04	38	0.69	-	-
沖縄県	348	6.00	11	0.32	15	0.44	53	1.56	16	0.47	9	0.26	2	0.06	12	0.35	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数,疾病・都道府県別

2009年30调

報告数・定点	当り報告	数,疾病	・都道府	県別													2009年30週
	ヘルバ	パンギーナ	流行性	耳下腺炎		出血性膜炎	流行性	角結膜炎	細菌性	:髄膜炎*	無菌性	上髄膜炎		プラズマ 炎		ミジア 炎	RSウイルス 感 染 症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	6882	2.28	2479	0.82	11	0.02	326	0.49	6	0.01	17	0.04	160	0.35	11	0.02	177
北海道	38	0.27	106	0.74	-	-	10	0.34	-	-	-	-	9	0.39			22
青森県	14	0.33	9	0.21	-	-	3	0.27	-	-	-	-	8	1.33			-
岩手県	24	0.60	7	0.18	-	-	7	0.50	-	-	1	0.05	4	0.21	2	2 0.11	3
宮城県	30	0.50	19	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1.17			8
秋田県	20	0.57	17	0.49	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.13			-
山形県	23	0.77	48	1.60	-	-	1	0.13	-	-	2	0.20	2	0.20			-
福島県	24	0.50	68	1.42	-	-	6	0.50	1	0.14	1	0.14	3	0.43			12
茨城県	45	0.60	13	0.17	-	-	15	0.88	-	-	-	-	5	0.38			-
栃木県	56	1.17	25	0.52	-	-	4	0.33	-	-	-	-	3	0.43			-
群馬県	112	1.81	34	0.55	-	-	26	1.86	1	0.13	-	-	6	0.75			-
埼玉県	157	1.03	205	1.34	-	-	17	0.41	-	-	-	-	16	1.78	2	2 0.22	5
千葉県	183	1.39	159	1.20	2	0.06	8	0.24	-	-	-	-	2	0.22	1	0.11	4
東京都	167	1.14	144	0.98	1	0.03	11	0.28	-	-	-	-	5	0.21			5
神奈川県	452	2.25	148	0.74	1	0.03	26	0.65	-	-	-	-	-	-			8
新潟県	64	1.05	42	0.69	1	0.11	5	0.56	-	-	-	-	6	0.50	1	0.08	1
富山県	80	2.86	14	0.50	-	-	-	-	-	-	1	0.20	3	0.60			-
石川県	34	1.17	17	0.59	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20			1
福井県	13	0.59	87	3.95	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17			1
山梨県	14	0.61	3	0.13	-	-		-		-	-	-	3	0.30	1	0.10	-
長野県	54	0.98	11	0.20	-	-	4	0.36	1	0.09	-	-	4	0.36			-
岐阜県	151	2.85	34	0.64	-	-	2	0.18	-	-	3	0.60	1	0.20			1
静岡県	438	5.21	48	0.57	-	-	7		-	-	-	-	5	0.50			1
愛知県	1008		129		-	-	7	0.21		-	-	-	1				3
三重県	230		32		-	-				-	1	0.11	1	0.11			2
滋賀県	61		6			-	2			-	-	-	-	-	1	0.14	-
京都府	104		20		-		10		-		-	-	-				2
大阪府	1096		174		-		12		1	0.08	-	-	3	0.23	•		25
兵庫県	331		48		1		19				-	-	-	-			5
奈良県	60		44		-		1					0.33		0.17			-
和歌山県	59		53					-						0.55			-
鳥取県	26		3		-			0.33	-		-		-				2
島根県	69		7				-		1		-			0.25		0.13	-
岡山県	154		18				10				1			0.20			-
広島県	115		56				21				2			0.10			18
山口県 徳島県	101		34		-		3				-			0.56			-
徳島県	36		4								-	-	-	-	•		-
香川県	36		9				1					-					2
愛媛県	133		29		-		8					-		0.50			-
高知県	446		17		1		1	0.33			-	-		0.14			-
福岡県	446		244		-		15				-	-		0.07		0.07	5
佐賀県 	53		38		-		-							0.50			-
長崎県	31		113		-	0.25	5				- 1			0.17		 	-
熊本県 一 大分県	128 253		36 22				26 4				1		-	0.13			1
宮崎県					1		7		1							 	2
品崎宗 	112 40		39 18		-		13							0.43		 	18
沖縄県	2	0.06	28	0.82	1	0.10	7	0.70		-	2	0.29	21	3.00	1	0.14	20

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数,疾病・都道府県別 2009年30週

	エボラと	出血熱	マールブ	 ルグ病	ペス	(重症急	性呼吸器		ARS)		結	 核	鳥インフルエン	ザ(H5N1)	細菌性	 赤痢
	tل		サル		プレーリ		イタチア		タヌ		ハクビ	シン	サル		鳥类		サル	
	報告数		報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数		報告数		報告数	累積	報告数		報告数	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
愛知県		-	-		-	-		-	-		-		-		-		-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府 大阪府	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-					
兵庫県					-													
奈良県																		
和歌山県																		
鳥取県																		
島根県			_								_		_			_		_
岡山県				_									_		_			-
広島県		_		_			_	_			-		_			_		-
山口県		_		_		_	_	_	_		-		_	_		_		-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	_	-	-	-	-	_	_	-	_	-	-	-	_	-	_	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-
 佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

起生物。思籍起生物 疾病。郑道府周则 2000年30週

報告数・	累積報	设告数 , 疾	病・都道	道府県別 2	2009年30週
		ウエストナ	イル熱	エキノコッ	ウス症
		鳥類	<u></u>	犬	
		報告数	累積	報告数	累積
総数		-	-	-	-
北海道		-	-	-	-
青森県		-	-	-	-
岩手県		-	-	-	-
宮城県		-	-	-	-
秋田県		-	-	-	-
山形県		-	-	-	-
福島県		-	-	-	-
茨城県		-	-	-	-
栃木県		-	-	-	-
群馬県		-	-	-	-
埼玉県		-	-	-	-
千葉県		-	-	-	-
東京都		-	-	-	-
神奈川」	杲	-	-	-	-
新潟県		-	-	-	-
富山県		-	-	-	-
石川県		-	-	-	-
福井県		-	-	-	-
山梨県		-	-	-	-
長野県		-	-	-	-
岐阜県		-	-	-	-
静岡県		-	-	-	-
愛知県		-	-	-	-
三重県		-	-	-	-
滋賀県		-	-	-	-
京都府		-	-	-	-
大阪府		-	-	-	-
兵庫県		-	-	-	-
奈良県		-	-	-	-
和歌山』	果	-	-	-	-
鳥取県		-	-	-	-
島根県		-	-	-	-
岡山県		-	-	-	-
広島県		-	-	-	-
山口県		-	-	-	-
徳島県		-	-	-	-
香川県		-	-	-	-
愛媛県		-	-	-	-
高知県		-	-	-	-
福岡県		-	-	-	-
佐賀県		-	-	-	-
長崎県		-	-	-	-
熊本県		-	-	-	-
大分県		-	-	-	-
		_	_	_	-
見崎宮					
宮崎県 鹿児島!	——— 杲	-	_	-	-

感染症週報 第11巻 第30号 2009年8月7日発行

発 行:国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局:国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L: 03-5285-1111 FAX: 03-5285-1129

URL: http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

< 国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医 療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別 区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力 を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて 編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調 査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありま すが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容 に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属します が、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお 受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公 衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断 転載を禁じます。